



2019
No.341 8 月号

News

全国整備工場の皆様へ
NGP組合員200拠点がお届けする
お役立ち情報

2019年8月19日発行
■発行責任者/佐藤幸雄 ■編集・制作/(株)プロトリアス
■発行/(株)NGP 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F TEL03(5475)1200

定価/1部30円

NGP協同組合SDGs宣言

「自動車リサイクル事業を通じて未来のために今できること」をテーマとして、豊島の環境再生をはじめとし各種活動に取り組みます

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合は「自動車リサイクル事業を通じて未来のために今できること」をテーマに、2015年国連サミットで採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)」の取り組みを推進する活動をスタートします。

NGP協同組合は使用済み自動車の適正処理を高度化し、その使用済み自動車から有効に活用する「リユース部品」を社会に提供して、求められる資源循環型社会構築への使命を果たすとともに、人々の豊かな暮らしと、子供たちの未来のために「人」、「車」、「地球」にやさしい組織活動を推進しています。我々はこのような活動を推進していることから、まずは自らの事業にしっかりと取り組むことが社会や環境、経済の発展に貢献すると考えています。

SDGs達成に向けて、「環境再生」、「教育支援」、「循環型社会の形成」に重点を置き、社会課題の解決に積極的に取り組んでいきます。

■豊島環境再生

- ・NGPの自動車リユース部品が利用されることで生まれるCO₂削減量に応じて寄付金
 - ・廃車買い取りサービス「廃車王」で車を1台引き取るごとに寄付金
 - ・「廃車王」全加盟店にオリジナル募金箱を設置し寄付
 - ・豊島の環境再生活動/海ごみ対策活動等ボランティア活動
- 寄付金は、香川県瀬戸内海の豊島で起き

た国内最大級の不法投棄事件をきっかけに設立された「瀬戸内オリーブ基金」を通じて、豊島をはじめとする瀬戸内の環境再生に利用されます。NGP協同組合は、自動車関係の企業・団体として初めて瀬戸内オリーブ基金の協賛会員となりました。

■子どもたちの教育支援

- ・NGPの自動車リユース部品1点につき「ベルマーク5点」を付与
- ・NGP組合員会社で、全国の小学生を対象に自動車リサイクルが学べる工場見学を実施
- ・NGP組合員会社で募金/寄付活動。寄付金は「交通遺児育英会」を通じて、保護者の交通事故が原因で就学困難となる子供たちを支援

■循環型社会の形成/廃棄物の抑制

- ・使用済み自動車の適正処理
- ・自動車リサイクル部品の啓蒙活動
- ・素材の再利用
- ・自動車リサイクル部品の環境負荷低減効果の研究(明治大学/富山県立大学共同研究)

7月23日に開催されたSDGsに関する記者説明会には、NGP協同組合の佐藤幸雄理事長、小林信夫副理事長、鈴木成幸専務理事、杉之間大和総務広報委員長、瀬戸内オリーブ基金の岩城裕理事長が出席しました。

佐藤理事長は「瀬戸内オリーブ基金の事業活動に賛同し、少しでも豊島の環境再生活動に貢献したいと考えました。自動車リ



NGP協同組合・佐藤幸雄理事長から瀬戸内オリーブ基金の岩城裕理事長へ、寄付金を贈呈

サイクルに係わる我々こそが、豊島の環境再生活動を応援しなければならないと考えています。ぜひNGPだけではなくこの業界にかかわる皆様にも、瀬戸内オリーブ基金の活動に賛同いただき、協賛だけではなく豊島の環境再生活動に、直接に携わっていただければと切に願っています」と、本活動に取り組む必要性を強調しました。

瀬戸内オリーブ基金の岩城理事長は「我々は、瀬戸内の豊かな島と海を次の世代へ引き継ぐために活動をしています。豊島事件の意義と教訓を次の世代に伝えるとともに、海洋プラスチックゴミの問題にも取り組んでいます。豊島の産業廃棄物で、量が最も多かったのはシュレッダーダストで、バッテリーの鉛による環境汚染は深刻な問題です。当基金の活動に対してNGPから賛同をいただけたことを、非常にうれしく思っています。今後さらなる協力関係を構築し、その関係の中で様々な取り組みを進めていきたいと考えています」と、NGP協同組合とともに環境改善活動に取り組むことに対する期待感を示しました。

工場ルポ

有限会社イシイオートサービス

代表者：石井和好
所在地：千葉県船橋市高野台5-10-1

石井和好社長に工場の取り組みについてお伺いしました。

・工場の概要を教えてください。

1989年にロードサービスをメインに扱う会社として立ち上げました。その後、1999年の工場移転を機に塗装ブースを導入して、钣金塗装も本格的に始めました。スタッフ数は私、フロント1人、钣金3人、塗装2人、ロードサービス2人、整備1人、事務2人の合計12人です。月間入庫台数は钣金塗装60台、車検20台で、ディーラーからの仕事が9割となっています。

・NGPリサイクルパーツの活用法は？

どうしても高額になりがちな自動車修理において、カーオーナーが気にされるのは金額です。当社では保険を使う方、

使わない方を問わずリサイクルパーツの提案を行っており、多くの方にご利用いただいています。

・工場の今後の課題や取り組み、展望などを聞かせてください。

ASVの登場や、車体の仕組みや塗料が変わってきている状況を踏まえて、新しい知識や資格を取得していきたいと考

えています。また、従業員の健康面を考慮して水性塗料の導入も検討しています。今後は直需客獲得も視野に、様々な要望に応えられるように技術を磨き、安心して任せていただけるように頑張っていく予定です。



工場外観



石井和好社長

株式会社イワマツコーポレーション

代表者：岩松仁志
所在地：千葉県柏市若白毛1187

岩松仁志社長に工場の取り組みについてお伺いしました。

・工場の概要を教えてください。

私は損保会社に入社し、数年後に保険代理店を立ち上げました。そして、それらの経験と車を直すことが好きだったこともあり、1995年に現在の場所で創業しました。スタッフは私、钣金、塗装、整備、営業、事務それぞれ1人の合計6人です。月間平均入庫台数は車検・整備30台、钣金30台で、すべて直需のお客様となっています。

・NGPリサイクルパーツの活用法は？

通常の钣金塗装以外でも、車検や整備面でもリサイクルパーツのメリットを説明して、提案を行っています。徹底した品質管理がされているので、工場として

も安心して使うことができます。

・工場の今後の課題や取り組み、展望などを聞かせてください。

事故車の減少や自動車保険料率の改定から、钣金塗装の仕事が減少することは覚悟していました。これからは、今以上に車に関して幅広く対応できることが求められると感じています。当社は直需の

お客様に支えていただいているので、車販や保険仕事にも力を入れています。

また、特定整備認証制度などの情報もしっかりと仕入れ、新技術への対応にも遅れないよう勉強会などにも積極的に参加していき、直せない車がないようにしてお客様のニーズに応えていきたいと思っています。



工場外観



岩松仁志社長

現行の分解整備の定義を拡大し、 名称を「特定整備」へと変更 OBD 検査開始に向けた制度整備も進む

改正道路運送車両法が5月17日に参議院で可決成立し、同月24日に公布されました。①保安基準対象装置への自動運行装置の追加、②自動車の電子的な検査に必要な技術情報の管理に関する事務を行わせる法人の整理、③分解整備の範囲の拡大及び点検整備に必要な技術情報の提供の義務付け、④自動運行装置等に組み込まれたプログラムの改変による改造等に係る許可制度の創設、⑤自動車検査証の電子化、⑥自動車の型式指定制度における完成検査の違反に対する是正命令等の創設などがそのおもな内容です。各改正の概要について、その背景とともに紹介します。

今年3月に最終報告書を取りまとめた「車載式故障診断装置を活用した自動車検査手法のあり方検討会」は、自動運転技術に使用されている電子制御装置の機能確認を、車検で実施することを目的としています。その最終報告書内で2024年以降に開始される予定のOBD検査は、保安基準に性能要件が規定された装置を対象としています。①の改正によって自動運行装置に保安基準が規定されることとなり、OBD検査で自動運転システムの機能確認をする法的な枠組みが整ったこととなります。

また同報告書ではOBD検査において「特定DTC」が検出された車両を不合格とすることとしており、自動車メーカーなどは「特定DTC」情報を自動車技術総合機構（機構）へ提出し、機構は「特定DTC」情報及びECU情報を機構サーバーで一元管理する方針が示されていました。そのため②の改正では、自動車の検査における電子的な基準適合性審査に必要な技術情報の管理に関する事務について、機構に行わせることを定めています。

そして③はもっとも整備業界に影響を与えるとみられている、整備認証制度に関する改正です。これまで「分解整備」の対象としていた装置である原動機、動力伝達装置、走行装置、操縦装置、制動装置、緩衝

装置、連結装置に新たに「自動運行装置」を加え、名称を「特定整備」へと変更しています。

さらにこれまでの「分解整備」は「装置を取り外して行う自動車の整備又は改造」と定義されていましたが、「特定整備」では「装置を取り外して行う自動車の整備又は改造その他のこれらの装置の作動に影響を及ぼすおそれがある整備又は改造」と、その定義が拡大されています。つまりセンサー類を取り外さずに調整する作業などについても、特定整備に該当すると捉えることができます。一方自動車メーカーなどに対しては、特定整備を行う事業者などが点検整備をするに当たって必要となる型式固有の技術情報を提供することを義務づけています。

特定整備の導入に向けて検討を行ってきた自動車整備技術の高度化検討会では、新たな特定整備事業の制度について、(1) 現行の分解整備作業のみを行うパターン、(2) 新たに特定整備として追加された自動運行装置に対する作業のみを行うパターン、(3) その両方の作業を行うパターンの3種類の認証を設定する方向性を示しています。

特定整備に関する改正道路運送車両法の施行は公布から1年以内とされており、認証基準などの詳細については秋ころまでに

公開される見込みです。また現在自動車整備事業を営んでいる場合は、施行後4年間は引き続き事業を継続できるとされています。

④の改正では、無線通信などで保安基準に係わる自動車のソフトウェアを更新する行為に対する許可制度を創設しています。通信モジュールの組み込みなどコネクテッド化が進む中で、今後自動車においてもOTA（Over The Air：無線ネットワークを利用した通信）の活用が進むとみられており、それに対応する枠組みを整備しました。

⑤の車検証の電子化は、継続検査OSS申請時の負荷軽減などを目的とした改正です。また、近年発生した完成検査の不適切な取り扱いなどを受けて、⑥の改正で完成検査に対する対応の強化などが図られています。

特定整備の新たな認証基準に関する法令などは社会的に大きな影響を及ぼすものとなるため、パブリックコメントなども実施されると考えられます。整備・修理工場においては今後の動向に注視し、新たな制度への対応を検討しておくことが重要となるでしょう。

NGP 今月のCO₂削減量



リユース部品利用に伴うCO₂削減量

令和元年6月： **2,462t**

※自動車リサイクル部品産学共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の90品目（左右ある部品を含む115品目）を対象に算出した数値です。



リターナブル梱包材利用に伴うCO₂削減量

令和元年6月： **2.1t**

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO₂排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

NGP組合員 かわら版

第34回中級研修会を開催

自動車構造やマネジメント能力など 幅広い領域の知識を習得

第34回中級研修会が6月24～28日の5日間、(株)あいおいニッセイ同和自動車研究所・東富士センター（静岡県裾野市）にて開催されました。

生産・フロント・営業の3部門から計19人が参加した同研修会では、部門ごとの専門講義のほか、マネジメントやリーダーシップについて学ぶ共通講義、自動車業界の動向に関する情報提供などを実施しました。さらに実車を用いた技術研修では、エンジン、オートマチック

トランスミッション、ハイブリッドシステム、エアコンなどの構造や点検方法について解説を受けています。

研修を終えて、メタルリサイクル(株)パーツセンターの山口剛さんは「部下一人ひとりの気持ちを察し、チームとして皆が協力し合える環境を作ります」と、今後の決意を表明しています。(株)金子商会の水江大さんは「専門講義では、営業の基本的な考え方、営業力向上のポイント、コミュニケーションの難しさ、目



指すべき商談の流れなど、多くのことを教えていただきました。学んだことをこれからの仕事に役立てられるよう、がんばっていきたくです」と、研修で得た知識を今後の業務に活用していく考えです。

NGP 戦略会議を開催

業界の未来について議論し、今後の事業計画を検討

7月18・19日の2日間、NGP執行部の理事、委員長、顧問、相談役が松風閣（静岡県焼津市）に集まり、今後の運営方針等を話し合う戦略会議を開催しました。

会議では、アフターマーケットの動向、傾向についての確認と、廃車王のさらなる強化を推し進め、ECサイトへの注力もしていく計画が打ち出されました。最終日の19日には各委員会より、今後の取り組み方針、現状の課題と解決策について発表され、今後より活発化された委員会活動のため、各員には、各委員会での積極的な発言による参加を求めていることも確認されました。

また、会議の締めくくりには佐藤幸雄理事長をはじめ執行部ほか相談役から、アフターマーケットにおけるNGPの強

みについての認識を強調され、その圧倒的な品質と、他団体とは一線を画する団結力を存分に発揮し、今回討議された内容を今後の取り組みに活かしてもらいたいという願いもありました。

また、19日には4～6月の3ヵ月間にわたって開催した「NGP春の選べるダブルキャンペーン」の抽選会を行いました。皆様からお送りいただいた応募用紙の中から、佐藤理事長が抽選を行い、



戦略会議の様子

当選者を決定致しました。なお、抽選の結果につきましては、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

お送りいただいた応募総数は25,112通、応募事業者数は7,173社に上りました。応募数、応募事業者数とも、前回は大きく上回る結果となりました。たくさんのご応募、誠にありがとうございました。



抽選をする佐藤幸雄理事長

組合員情報変更

支部	会社名	変更内容	変更後	変更日
九州	株パーツライン 佐賀営業所	開店	〒840-0801 佐賀県佐賀市駅前中央二丁目10番20号 ルネス桜乃205号室 TEL0952-97-7100 FAX0952-97-7172	2019年7月31日

訃報

令和元年7月9日、株式会社佐伯商会（香川県高松市）代表取締役佐伯孝雄様の御尊父様・同社会長 佐伯徳雄(さえき とくお) 様がお逝去されました(満84歳)。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
<http://www.ngp.gr.jp/>

株式会社NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201
<http://www.ngp.co.jp/>